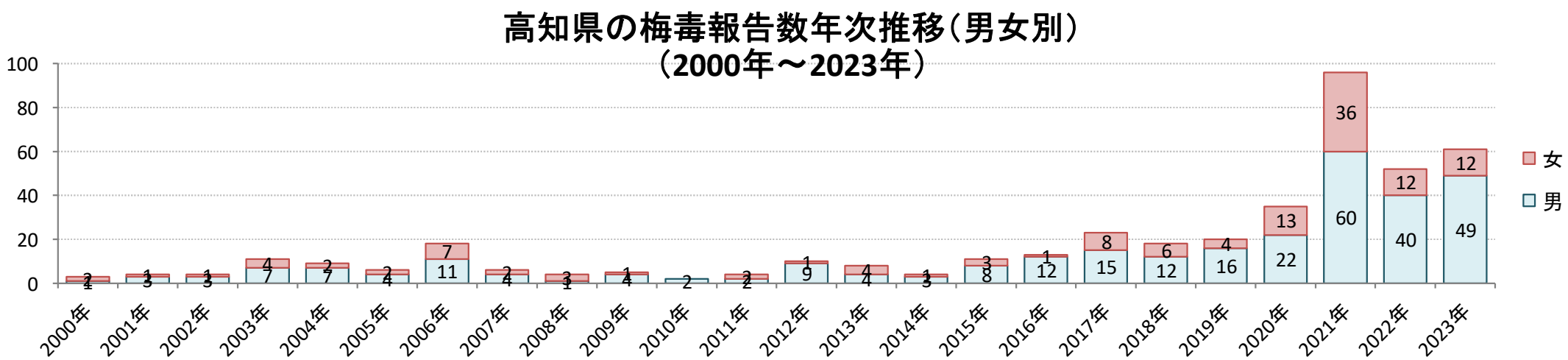
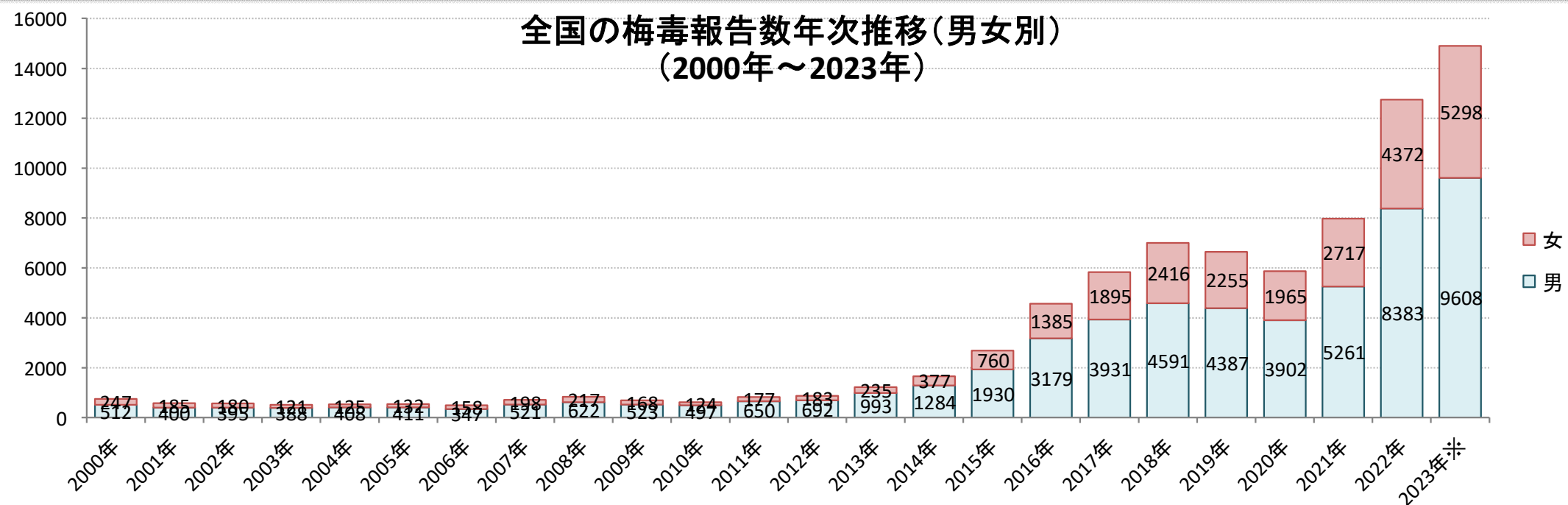


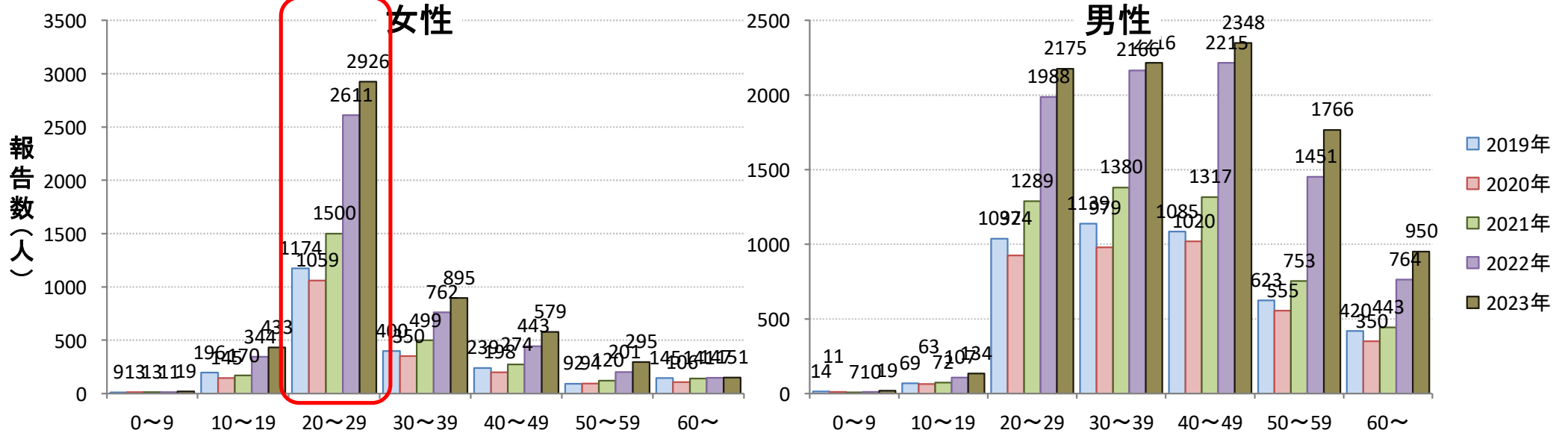
梅毒の発生動向



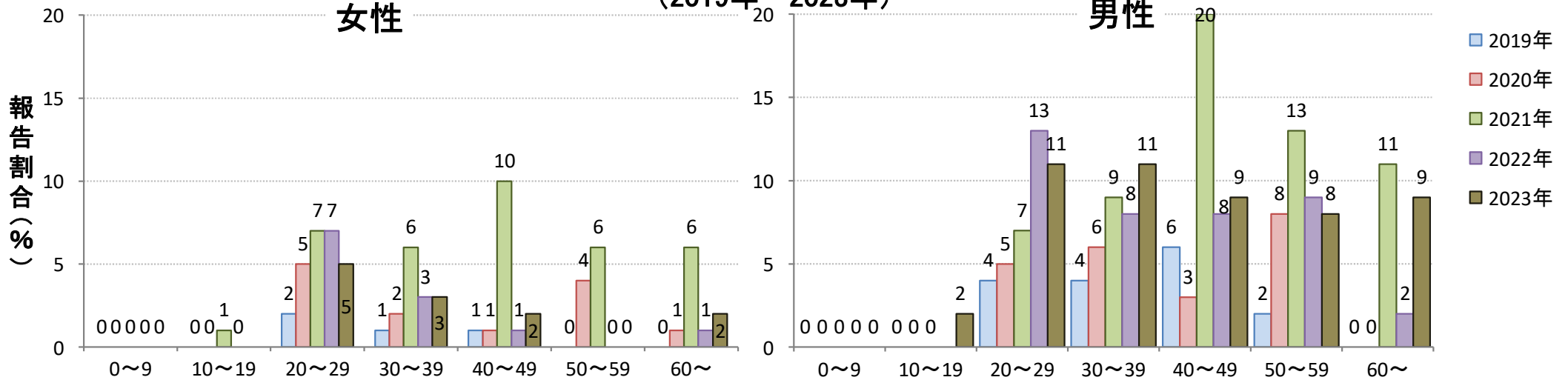
- 全国では、2010年以降、報告数が増加を続けており、2022年、2023年は大幅に増加している。
- 高知県でもここ数年増加傾向にあり、2021年の人口あたり梅毒報告数は、全国第1位の東京都に次ぐ第2位となり、全国上位まで急増した。

「感染症発生動向調査」
(2024年1月16日現在)

全国の梅毒患者の性別年齢群別報告数 (2019年～2023年)



高知県の梅毒患者の性別年齢群別報告数 (2019年～2023年)



○全国では、近年、20歳代の若い女性の患者割合が増加。男性は年齢分布に大きな変化はなく20～40歳代に多い。
○高知県は、2021年は男女ともに幅広い年代で報告があったが、2022年は20歳代の若い女性の患者割合が増加し、男性は20～50歳代が多い。

「感染症発生動向調査」
(2024年1月16日現在)

【2022年】直近6か月以内の性風俗産業の従事歴および利用歴

男性

従事歴

(%)	全国	高知県
あり	2.2	2.5
なし	59.6	80.0
不明	23.9	5.0
空欄	14.3	12.5

利用歴

(%)	全国	高知県
あり	39.3	57.5
なし	27.6	27.5
不明	21.5	2.5
空欄	11.6	12.5

女性

従事歴

(%)	全国	高知県
あり	39.6	16.7
なし	30.6	33.3
不明	18.0	16.7
空欄	11.8	33.3

利用歴

(%)	全国	高知県
あり	1.9	0.0
なし	48.1	41.7
不明	33.8	16.7
空欄	16.3	41.7